

事業所名

児童通所支援Circus

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

24 日

法人（事業所）理念	個々人の個性を活かし、創造性豊かに楽しみながら成長を実感できる社会創りに貢献いたします。								
支援方針	子ども自身の将来の選択肢を増やしていく 個々の持っている能力や才能を伸ばすための支援を通して、自信を持って生活を送れるよう目指す								
営業時間	9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。 社会生活に必要なIADL(金銭や時間管理、公共交通機関の利用)の視点も重視します。 学齢期には、二次障害やメンタルヘルスの課題に対応し、自尊感情や自己効力感を育むことで、子どもがこれらの課題を乗り越えられるようサポートします。							
	運動・感覚	子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。 感覚、知覚、認知の視点を取り入れ、感覚入力を正確に処理できるよう、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供し、粗大運動では、前庭感覚や固有感覚を意識しながら、バランス感覚た姿勢保持を養う活動を行います。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。							
	認知・行動	読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。 これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。(アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します)							
	言語 コミュニケーション	視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。 発話意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。必要に応じてICT機器を活用し、意思伝達や環境理解を支え、状況に応じたコミュニケーション能力の向上を目指します。							
	人間関係 社会性	ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。 注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。							
家族支援	各児童の支援の振り返りにおいて、成長の見られる点と課題点をまとめて伝え、それに基づいて家庭で重点的に行うべきアプローチを提案する。 家庭でのアプローチの悩みや学校での不安事項などについて、随時面談を行いアドバイスをを行う。	移行支援	各児童の所属する学校に対し、定期的な情報共有として、モニタリング資料の共有を行う。 支援上の課題がある場合には、学校や関係機関とのケース会議を提案・実施する。						
地域支援・地域連携	地域の交流会に参加し、制度及び支援についての情報交換を行う。 各児童の所属する他放デイや利用する相談支援事業所に対し、定期的な情報共有として、モニタリング資料の共有を行う。 支援上の課題がある場合には、学校や関係機関とのケース会議を提案・実施する。	職員の質の向上	施設内研修及び定期カンファレンス 研修動画の提供 自治体が提供する研修への参加						
主な行事等	季節の変化に興味を持てるようなイベント、自己表現のための創作活動、「健康・生活」「運動・感覚」の伸長に資するような運動、進路選択につながるような体験を行事として提供する。								